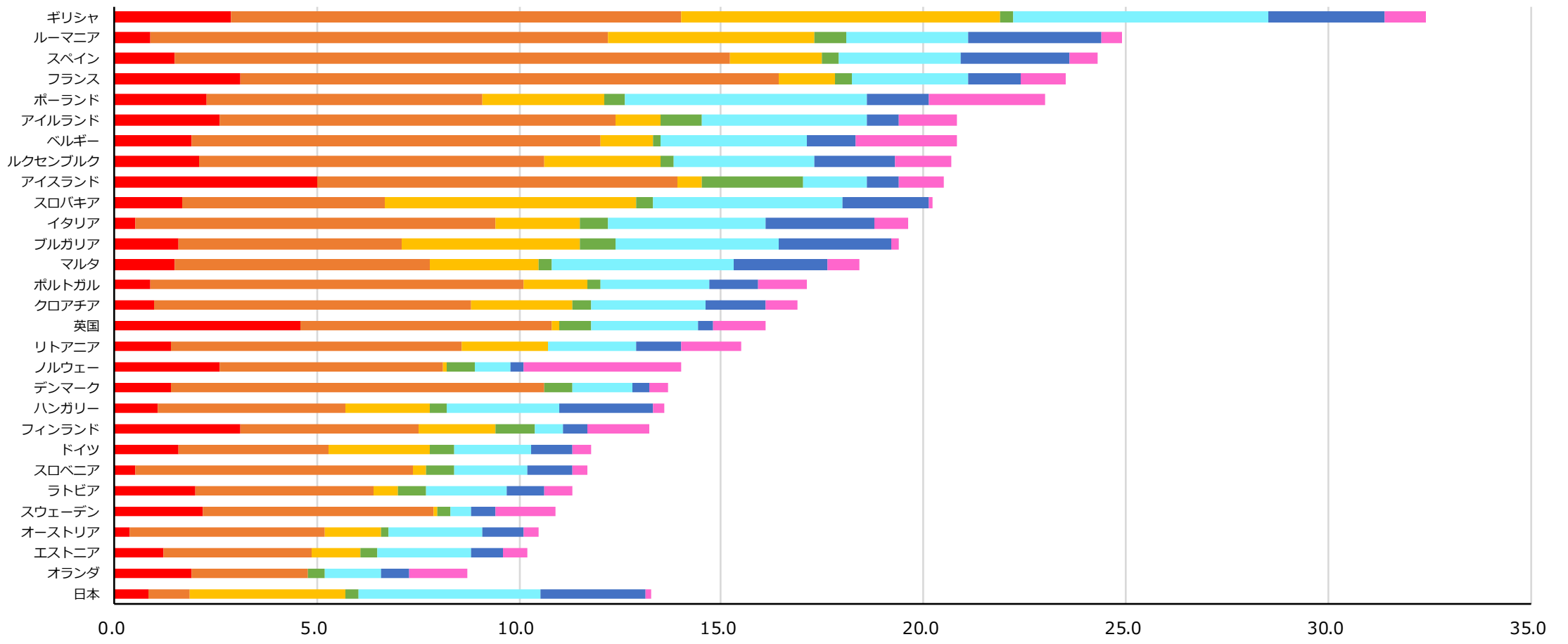


# 抗菌薬使用量:欧州との比較

# 欧州および日本における抗菌薬使用量の国際比較 (2018年)



Defined Daily Dose / 1,000住民 / 日

- テトラサイクリン
- ペニシリン
- セファロスポリン及び他のβラクタム系
- スルフォンアミド・トリメトプリム
- マクロライド、リンコサミド及びストレプトグラミン
- キノロン
- その他の抗菌薬

※ 標準化のためのDefined Daily Doseは2020年版を使用している

- 本データの日本の情報に関しては診療、調剤時に発生する診療報酬明細書、調剤報酬明細書をもとに集計しています。  
医療費公費負担制度受給者のデータなどが含まれないことがあり、正確な使用量を示すものではありません。  
また、データソースが異なるため、販売量サーベイランス (<http://amrcrc.ncgm.go.jp/surveillance/020/20190902163931.html>) とは数値が異なります。
- 本データの欧州各国の情報に関してはEuropean Center for Disease Prevention and Controlによる「Antimicrobial consumption - Annual Epidemiological Report for 2018」のデータを使用しています。  
(<https://www.ecdc.europa.eu/en/publications-data/downloadable-tables-antimicrobial-consumption-annual-epidemiological-report-2018>)
- 表記されている数値は、人口と薬剤ごとのDefined Daily Dose (DDD) で調整した『標準化使用量』を表しており、これをDID (DDDs/1,000 inhabitants/day) と呼びます。(参考：[https://www.whocc.no/atc\\_ddd\\_index/](https://www.whocc.no/atc_ddd_index/))。  
**DDDは2019年1月1日時点のものを使用しております。**

○人口は、総務省統計局の人口推計 (<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/>) を利用しています。

○その他、抗菌薬集計に関する用語に関しましては、こちらをご参照ください。( [http://amr.ncgm.go.jp/pdf/190903\\_glossary.pdf](http://amr.ncgm.go.jp/pdf/190903_glossary.pdf) )

#### ○注意事項

本データの抗菌薬種類 はAntimicrobial consumption - Annual Epidemiological Report for 2018と同様に、WHOのATC3Levelによる分類としています。  
ATC分類の詳細については [https://www.whocc.no/atc\\_ddd\\_index/](https://www.whocc.no/atc_ddd_index/) を参照してください

**(※) 本データ解析は、以下の研究に基づき実施されたものである。**

- ・令和2年度新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業 (厚生労働科学研究費補助金)  
薬剤耐性 (AMR) アクションプランの実行に関する研究 (研究代表者：大曲貴夫)